

まんまるはーと月形町



旬の新鮮情報



2010年11月号



11月のこよみ

(小) 霜月 (しもづき)

寒さが厳しくなり、霜を見かけることが多くなる月です

- 1日【米穀年度始め】
- 3日【文化の日】
- 7日【立 冬】
次第に冷気が深くなり、こよみの上で冬に入る日
- 9日【全国火災予防運動】
- 19日【農協法公布記念日】制定63年目
- 22日【小 雪】
寒気が増し、雨が凍って雪となる頃
- 23日【勤労感謝の日】
勤労を喜び、生産を祝いお互いに感謝する日

今月の行事予定

- 25日・第10回 理事会
- 30日・購買品現品棚卸
- 11月29日~12月2日
・第3回定期監査

URL <http://www.hamanasu.to/ja-moon>



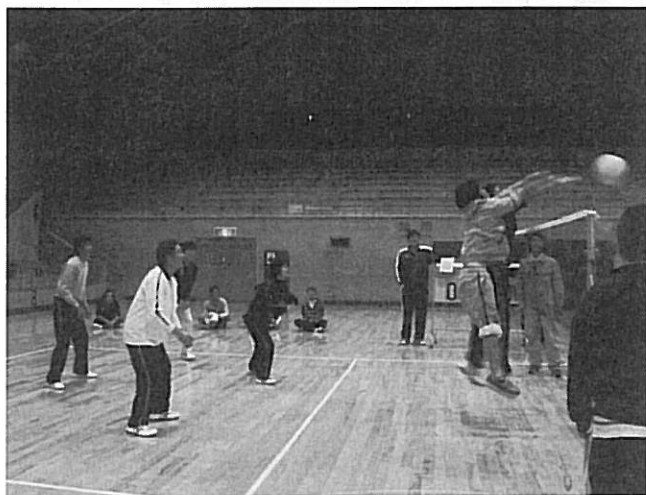
フォト ニュース

空知おいしいフェスタ
(見本市) に出品!



10月15日(金)に空知農産物ブランド化推進会議において、空知おいしいフェスタ(見本市)が北村で開催されたので、JA月形町からも出品いたしました。

季節柄、果菜類については、ほぼ出荷が終了しており現品を持参する事が出来なかったのですが、唯一「鑑賞用カボチャ」のみ現品を展示する事ができました。ハロウィンの時期も重なり、来客したお客さんからは「箱のデザインが可愛い」等と目を引いておりました。



JA青年部南部ブロックスポーツ大会

10月17日(日)岩見沢スポーツセンターにおいて、JA青年部南部ブロック親睦スポーツ大会が開催され、JA月形町青年部も参加致しました。

当JA青年部は、選抜チーム軍団として敢えて1チーム編成で試合に臨みました!

結果見事、「優勝」を収めることが出来、一同盛り上がりの中に幕を閉じました。



農薬容器の回収を行う

10月26日、27日の2日間でJA資材店舗前において、今年2回目となる農薬容器の回収を行いました。

当日は、計量等の作業をJA青年部が行い、農業者へ「農薬用廃プラスチックの適正処理」の啓発活動を行いました。今後も容器回収は、年2回行う予定となっておりますので、ご協力お願い致します。



農協法公布記念日にあたって

北海道農業協同組合中央会

会長 飛田 稔 章

昭和22年11月19日に農業協同組合法(農協法)が制定され63年目を迎えました。

制定当時は戦争の傷跡が生々しく、日本全土が荒廃する中で、国民の食料は不足し、食料確保の必要性和併せて農民の自主的立場を確立するために農村の民主化が最重要課題でありました。

このような時代背景の中から農協法が施行され、全国各地で農協が設立され、現在に至っております。

農協は農地改革によって生まれた自作農を基本とした「農民の農民による農民のための」組織として、人々が連帯し助け合うことを意味する「相互扶助」の精神のもとに組合員の農業経営と生活を守り、より良い地域社会を築くことを目的とした協同組織です。

農協法が制定されて以来、経済情勢や社会環境の変化に合わせてJAの事業展開や組織運営手法の変革が求められ、時代に即した法改正によって、組合員の社会・経済的地位の向上に大きな役割を果たして参りました。

今、私たちは21世紀の初頭を歩んでいますが、世界に目を向けますと金融危機、食料需給のひっ迫、地球温暖化・環境問題等が深刻化し、いまだに解決の糸口を見いだせない状況にあります。

国内的には市場原理の名のもとに行き過ぎた競争社会のひずみが格差社会を生み、年金問題などと相まって、国民の中に不安が増大しています。

このような時代に自主・自立・相互扶助精神に基づき共生の社会をめざす協同組合組織に対する期待はますます大きくなっています。

私たちは平成21年、「第26回JA北海道大会」を開催し、共同の力で築く「あすの食をささえる北海道農業」をテーマに、組合員に基軸を置き、北海道農業・JAが抱えるさまざまな課題の打開と地域と消費者に対して果たすべき役割を踏まえ、『北海道農業の潜在能力のフル発揮への挑戦』と『共同と信頼の絆で築く新時代のJA』に関する決議を確認いたしました。

今後ともWTO農業交渉をはじめEPA・FTA、景気低迷等厳しい情勢が予測されますが、組合員、役職員皆様が農協法の目的と意義を再確認して、JAが地域農業・農村振興の司令塔としての役割を発揮し、充実した組織として益々発展するよう共に頑張りましょう。

WTO・EPA つぼの壺

●日本農業・地域経済を壊滅させるTPPに断固反対!!●

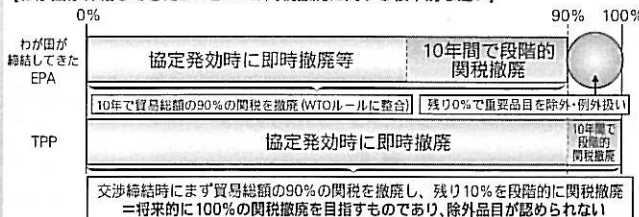
現在、わが国のTPP（環太平洋パートナーシップ協定）への参加の是非について、政府内での議論が行われています。今回は、TPP参加により考えられる様々な問題点（日本農業や地域経済に与える影響など）をまとめるとともに、今後、以下のようなTPPに関する我々の考えを主張していきます。

TPP（環太平洋パートナーシップ協定）とは？

TPP（環太平洋パートナーシップ協定）とは、アジア太平洋地域を中心とした連携協定で、アメリカやオーストラリア、ニュージーランドなどの農産物輸出国を含めた9カ国で、現在交渉をすすめています。

この連携協定では、交渉締結時に貿易総額の90%の関税を撤廃し、残りの10%も10年程度で段階的に撤廃しなければなりません。つまり、除外・例外品目を設けない関税撤廃を原則としており、これまでわが国が締結してきたEPAとは全く異なるものです。

【わが国が締結してきたEPAとTPPの関税撤廃に関する根本的な違い】



問題点①

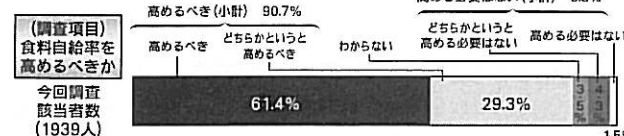
TPPにより食糧自給率を向上させることは不可能

TPPを結べば、食料自給率の向上を図るとした食料・農業・農村基本計画との整合性を図ることも、国民の圧倒的多数が望む自給率の向上も到底不可能

【食料・農業・農村基本計画とTPPの整合性確保は不可能】

新たな食料・農業・農村基本計画（案）【平成22年3月30日閣議決定】
 ●食料・農業・農村政策を日本の国家戦略として位置付けるとともに、「国民全体で農業・農村を支える社会の想像」を明記
 ●平成32年までに、食料自給率目標50%の達成を目指す
 ●EPA・FTAについては、食の安全・安定供給、食料自給率の向上、国内農業・農村の振興等を損なうことは行わないことを基本

【最近の内閣府世論調査でもわかった食料自給率向上への国民の圧倒的期待】
 平成22年10月の内閣府「食料の供給に関する特別世論調査」によれば、国民の9割以上が食料自給率の向上を期待



TPPに関するJAグループの主張

EPAは、交渉参加国の相互発展と繁栄を本来の目的とすべきであり、そのこと自体を否定するわけではありません。しかし、わが国がTPP交渉に参加しても、この目的の達成は不可能です。命の安全保障を放棄してまで、追求しなければならない経済成長とは一体何なののでしょうか？

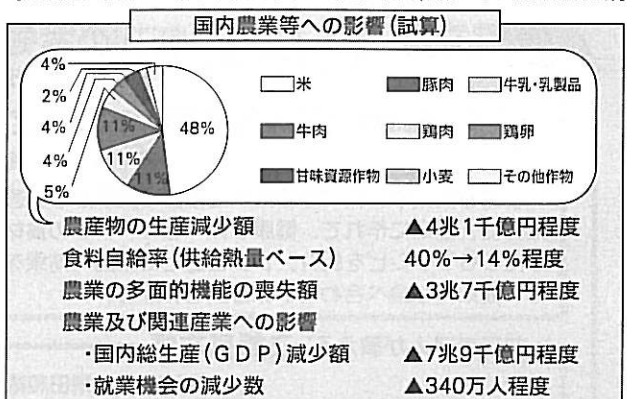
上記の問題点①、②が解決されない限り、我々JAグループはTPP交渉への参加に反対であり、断じて認めることはできません。

国民各層の皆様のご理解とご支援をよろしくお願いします。

農業のみならず地域経済に甚大な影響

TPPにより、日本農業は壊滅し、関連する農産物加工業や農業機械等の製造業、さらには運送業など幅広い産業が影響を受け、地方の雇用は大きく減少。

【国境措置を撤廃した場合の国内農業等への影響（試算）】



JAバンク ウィンターキャンペーン2010

期間：平成22年11月1日（月）～平成22年12月30日（木）

募集総額 1億5千万円
 （期間中にかかわらず、募集総額に達しましたら取扱を終了致します。）

Aコース

- 定期貯金20万円以上100万円未満（期間1年・3年）新規預入！
 - 定期積金30万円以上（給付契約額）（期間1年～5年）新規契約！
- ※書替・継続は対象となりません。

店頭表示利率 +0.15%

Bコース

- 定期貯金100万円以上1,000万円未満（期間1年・3年）新規預入！
- ※書替・継続は対象となりません。

店頭表示利率 +0.15%

- さらに定期貯金預入額100万円毎に下記①②のいずれか進呈！

北海道産

ななつほし
5kg詰め1袋



ホクレン灯油券
20リットル分

- 対象の方 個人のお客様
- 対象商品 スーパー定期貯金（期間1年・3年、自動継続）
定期積金（期間1年～5年）
- 預入金額 【Aコース】 定期貯金20万円以上100万円未満
定期積金30万円以上（給付契約額）
【Bコース】 定期貯金100万円以上1,000万円未満
- 適用金利 【キャンペーン金利】 店頭表示利率+0.15%（税引前）
※初回満期日までの適用となります。
※満期日（自動継続時）以降の利率は店頭表示利率となります。
- 預入条件 【共通預入条件】 新規お預入れ貯金を対象とさせていただきます。
【キャンペーン金利】 お取引内容によらず上記【共通預入条件】を満たす場合に適用致します。
- 中途解約 預入期間に応じて当組合所定の利率で計算致します。
- その他 お利息には、20%の税金がかかります。（ただし、マル優をご利用の場合は除きます。）
お取扱期間中においても、市場動向により適用金利等の条件を変更する場合があります。

JA月形町 TEL 0126-53-2111（代表）

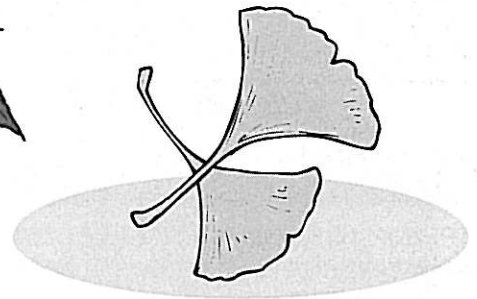
理事会だより

第九回 理事会議案 (十月二十五日開催)

付議第一号 平成二十二年産 普通大豆概算払い及び豆工房利用料金設定について
付議第二号 人事考課規程の一部改定について

報告第一号 平成二十二年九月末現在組合員の動向について
報告第二号 平成二十二年九月末現在財務状況について

報告第三号 平成二十二年九月末現在事業計画・実績対比について
報告第四号 職員教育訓練要領の一部改正について
報告第五号 平成二十二年九月末 米等 農産物の集荷状況について



こんにちは農民連盟 -10月-

8日・小平忠正さんを激励する会 四役
13日・第4回 拡大執行委員会 四役
・六単組書記長・書記次長会議 書記長・書記次長
20日・盟友 相田正祐氏 葬儀 書記次長
29日・T P Pに関する緊急要請行動

ホクレン♪スタンド情報♪

ハイオク 145 円/ℓ(税込み)
レギュラー 135 円/ℓ(税込み)
軽油 120 円/ℓ(税込み)
灯油 75 円/ℓ(税込み)

(11月4日現在)

ハイオク・ガソリン・軽油の店頭払いは現金・クミカンの場合2円引きです。

農協文庫 11月号 新刊のお知らせ

今月の農協文庫の新刊をお知らせします。

買取り・貸出しを行っていますので、詳しくは、営農推進課まで連絡下さい。

決定版 石原貴の 病気になる簡単レシピ

石原 結貴 著

今ある病気や、気になる症状を毎日の食事から改善するために、簡単に作れて、健康な体へ導く、76の食材を使った267レシピを紹介。レシピごとに効能・効果を解説し、効果的な食べ合わせや保存法もわかる。

お米の達人が教える ご飯基本帳

西島豊造・飛田和緒 著

毎日食べているお米はもっとおいしくなる。五つ星お米マイスターがお米の選び方、炊き方、保存法など、お米の正しい扱い方とその秘訣を伝授。また、料理研究家の飛田和緒さんが、とっておきのお米レシピを紹介。

組合員満足のJA経営

フロント・ラインから強い組織づくり

伊藤 喜代次 著

「JAの事業はすべてサービス事業である」という考えのもと、組合員や地域社会からの期待やニーズに応え、確かな関係性を構築するための、JAの経営・組織・事業のあり方と、その実践方法を事例を交えて提示。

自然のめぐみを楽しむ 昔ながらの和の行事

石坂 昌子 著

「七草摘み」「山野草の観察」「お茶作り」「しめ縄作り」等五百年続く農家の、懐かしくて新しい、自然の恵みを楽しむ四季折々の行事を紹介。ゆったりと流れる時間の中で季節の変化を感じとれる。

小さいからかんたん ココット型で作るスイーツ

若山 曜子 著

小さくてかわいらしく、そのままプレゼントできる。焼いても冷やしてもOKなココット型を使って簡単に作れる。シフォンケーキやカスタードプディング、スフレやチーズケーキなどのスイーツレシピ37種を紹介。

好評既刊 農業がわかると、社会のしくみが見えてくる

高校生からの食と農の経済学入門 生源寺 眞一 著

「なぜ日本に農業が必要なのか?」「自給率で国の食料事情はわかるのか?」など、食と農に関する素朴な疑問をテーマに、世界の食料や日本の農業と私達の毎日の食生活のつながりをやさしく読み解く。